

日本工学院ミュージックカレッジ		開講年度	2019年度		科目名	音楽ビジネスマネジメント 2	
科目基礎情報							
開設学科	コンサート・イベント科		コース名	全コース		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	矢野 正樹 ・ 志塚 昌紀				実務経験の有無・職種	無	
学習目的							
この授業では、「ビジネス・マネジメント＝ビジネスパーソンとして、社会に出て行く上で必要となるジェネリックスキル」として理解し、プレゼンテーションのテクニックやコミュニケーションスキルの向上や、メディア業界への理解の深化を通じて、音楽やイベント業界をはじめとした多様な仕事の現場で通用する社会人としての基礎力を身につけることを目的とする。エンタテインメント業界に従事することになるスタッフとして「相手に聴いて貰うことができる話し方」と「相手に話させることができる聞き方」の両方を伝え、人に好かれる社会人となるために注意すべきことを習得していく。プレゼンテーションにおいてなぜ声は大きくしなければならないのか、など当たり前にも思えることを動機を明確にして伝えていく。							
到達目標							
この授業では、より実践的なビジネスマネジメントスキルとして、「前に踏み出す力（アクション）」、「考えぬく力（シンキング）」、「協力する力（チームワーク）」の向上を目指している。社会人として耐えうる、より高いレベルの、これら3つの力を手に入れることを目標とする。またグループワークを通して他の学生と話し意見交換することを大切にし、互いの想いを伝え合い、受け止め合うことでコミュニケーション能力の向上を図っていく。人前で話す機会を全員に与えることで物おじせず話す能力を身に付け、今後行っていく就職活動における面接でも、自信を持って自分の意欲を企業に伝えるための礎を築いていく。							
教育方法等							
授業概要	本授業は、この授業では、「ビジネス・マネジメント＝ビジネスパーソンとして社会に出て行く上で必要となるジェネリックスキル」として理解し、通常の講義に加え、受講生同士による相互の学び合いを重視し、演習も交えた内容となっている。また実践的な内容にするため授業内での各種メディアの収録等も行う。講師はエンタメ業界に従事する講師とイベントビジネスに精通した講師の2名が入替わりで担当し、それぞれの特色を活かし独自の視点から内容の解説を行っていく。						
注意点	授業に集中しノートをとること。また演習の際は、積極的に他者と関わりを持つこと。ビジネス・マネジメントを学ぶ事は、社会人に向けての意識のあり方について考え直す事でもある。その観点から、自らの生活や態度に対しても常に高い意識を持ち続ける必要がある。グループワークを多く取り入れているため「人と話すことに抵抗がある」場合は講義への参加が難しくなってしまうため、講師からチーム作成を促すなど工夫が必要である。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために、毎回フィードバックシートを実施し評価する				
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	【志塚】ライティングスキル①			日本語の特徴を理解し、分かりやすい文章を作るためのスキルを身につける			
2回	【矢野】音楽の値段			現代の音楽業界の流れ等を理解する			
3回	【志塚】ライティングスキル②			言葉に意識を向け、正しい日本語マナーを身につける			
4回	【矢野】ゲストスピーカー			現場の第一線で活躍するゲストの講演を聞き、自分の将来イメージと結びつける			
5回	【志塚】ゲストスピーカー			現場の第一線で活躍するゲストの講演を聞き、自分の将来イメージと結びつける			
6回	【矢野】ビジネス用語①			ビジネス現場で頻出の用語を正しく理解する			
7回	【志塚】チームワーク①			チームで企画を生み出すメリット、デメリットを学び、チームでアイデアをつくるテクニックについて理解する			
8回	【矢野】ビジネス用語②			ビジネス現場で頻出の用語を正しく理解する			
9回	【志塚】チームワーク②			相手の印象に残るような、質問対応力や聴衆分析方法について理解する			
10回	【矢野】数値、データの見方（タレントイメージ調査等より）			数値やデータを正しく読み解く力を身につける			
11回	【志塚】プレゼンテーション実践②			チームで全体の前でプレゼンテーションを行うことで、実践力、チームワークを養う			
12回	【矢野】ゲストスピーカー			現場の第一線で活躍するゲストの講演を聞き、自分の将来イメージと結びつける			
13回	【志塚】後期まとめ			後期の授業内容を振り返り、試験に向けて理解を深化させる			
14回	【矢野】後期まとめ・後期試験対策			後期の授業内容を振り返り、試験に向けて理解を深化させる			
15回	【志塚・矢野】合同授業			一年間の総まとめを行う			